

全国訪問教育研究会

第34回全国大会（WEB開催）開催要項

2021年4月20日

■大会に向けて■

全国訪問教育研究会第34回大会は、Web上での開催させていただくことになりました。世界的なコロナ禍にあり、オリンピック・パラリンピックの延期もあり、2021年8月に対面での開催は難しいと判断いたしました。さて、これまで全国訪問教育研究会では、通学に比べ圧倒的に少ない授業日数・時数など、厳しい教育条件の中でも丁寧に積み重ねられた実践をつなぎ、障害や病気の重い子どもたちの教育を豊かにしようと取り組んできました。昨年実施した「コロナ禍での訪問教育に関するアンケート調査」では、新型コロナウイルス感染防止のために、さらに厳しい条件の中にあっても、豊かな教育を子どもたちに届けたいという先生方の切実な思いがあきらかになりました。

今大会のテーマは「一人ひとりのいのちが輝く教育をめざして ～訪問教育のねがいをつなぐ～」といたしました。第33回全国大会（沖縄）は「一人ひとりのいのちが輝く教育をめざして ～結（ゆい） つながろう つなげよう～」をテーマに開催されました。訪問教育に関わる人々がつながっていくことが、一人ひとりのいのちが輝く教育につながることを実感する大会となりました。この沖縄大会に続く第34回全国大会は、コロナ禍においても守りたいこと、受け継いでゆきたいことを確かめ合い、子どものねがい、保護者のねがい、先生のねがい、みんなのねがいをつなぐ大会にしたい。今大会のテーマにはこうした願いが込められています。

シンポジウムでは障害の重い人の生涯学習を取り上げます。30年前は「15歳の壁」「20歳（はたち）の壁」などと言われていましたが、近年は学齢期よりも長い卒業後の生活があります。少しずつではありますが、全国で「訪問カレッジ」「訪問大学」がつくられ、家庭や施設などで学び続けることが模索されています。本大会のシンポジウムを通して、成人期の「いのちが輝く生活」について考える機会、訪問教育が学齢期で完結する教育ではなく、将来にわたって「いのちを輝かせる」ことにつながる教育であることを皆さんと一緒に考える機会になればと願っております。

今大会は、次の第35回大会へとつなぐ大会と位置付けています。Web開催のメリットは遠距離や諸事情により対面での大会に参加しにくかった方も参加できることです。これまでの全訪研大会に参加された皆様、沖縄大会に参加された皆様、そして初参加の皆様、多くの方とつながれることを心より楽しみにしております。

全国訪問教育研究会会長
樫木暢子

■大会テーマ■

「一人ひとりのいのちが輝く教育をめざして ～訪問教育のねがいをつなぐ～」

■開催日時■

2021年8月9日（月・振替休日）9:30～12:20 14:00～17:00

※Zoomを利用してオンラインで開催します。

■主催■

全国訪問教育研究会

■後援■（申請中を含む）

文部科学省・厚生労働省
 全国特別支援教育推進連盟・全国特別支援学校肢体不自由教育校長会
 全国特別支援学校知的障害教育校長会・全国特別支援学校病弱教育校長会
 社会福祉法人全国重症心身障害児(者)を守る会・全国訪問教育親の会・全国病弱教育研究会
 全国肢体不自由特別支援学校PTA連合会・認定NPO法人難病のこども支援全国ネットワーク
 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所

■大会日程・内容■

<午前の部> 9:30～12:20

9:30～10:00 全体会（開会行事）

- (1) 開会挨拶 榎木 暢子（全国訪問教育研究会会長）
- (2) 基調報告
- (3) 諸連絡

10:20～12:20 分科会

	分科会名	分科会のねらい
①	健康・身体づくり	障害が重く、日常的にさまざまな健康管理の必要な子どもに対するかかわりについて考えましょう。姿勢づくりや呼吸支援等、子どもの活動を引き出すために必要なことについて講義と実践を交えて交流しましょう。
②	コミュニケーション	重度・複障害児のコミュニケーションを育てるための支援や配慮について、訪問での教育実践について交流しましょう。それぞれの発達段階にある子どもを丁寧に観察、その主体的な反応を活用して主体的・対話的な学びを深める視点から、幅広く協議・討議をしましょう。重症児と言われる子どもたちは「反応がつかめない」「応答が乏しい」と言われがちですが、丁寧な関わりで意思表示や心の内面を捉えていく実践やその方法について話し合しましょう。
③	授業づくり・教育課程	授業・教材づくり、複数訪問やスクーリング、行事への取り組みなど、日々の実践や悩みを交流しあいましょう。 教育課程の視点から、訪問学級の子どもたちにふさわしい学びと生活について討議しましょう。 よろしければ教材も紹介ください。
④	病院や施設における教育	“生きる力を育む”いのちの輝く教育を求めて、病気療養児や施設入所児者の教育内容・方法や、院内学級・分教室・病院内施設内訪問教育の実践を深めていきましょう。
⑤	教育と地域での生活支援 ー医療・福祉・教育の連携	子どもたちの学びと生活を豊かにするためには、「地域の中で生きる」視点での生活支援、卒業後の進路を見通した指導、アフターケア、社会参加など、地域支援のネットワークづくりが大切になっています。医療的ケアを必要とする障害の重い子どもたち、内部疾患のある子どもたちなど、様々な障害のある子どもたちの就学前から在学中、卒業後までの教育と地域での生活を考えていきましょう。
⑥	「訪問教育の基礎・基本 ー訪問井戸端トークー」	話し合う機会が少なくなっている今だからこそ、今さら聞けない訪問教育の歴史や制度、実践について学びましょう。職員室での井戸端会議のように、日ごろの悩みについても、一緒に考えていきましょう。訪問教育初心者以外の参加も歓迎です。

<午後の部> 14:00～17:00

14:00～15:30 シンポジウム

「障害の重い人たちの生涯学習 ～訪問卒業生のいのち輝く学びをめざして～」

○コーディネーター 下川和洋（全訪研全国事務局・NPO法人地域ケアさぼーと研究所理事）

訪問卒業生や障害や病気の進行によって在宅や施設入所になった人たちが卒業後に継続して学び続ける場が、NPOやボランティアなどが中心になって、全国に少しずつ広がってきています。訪問卒業生が地域で豊かに生活するとき、安全・安心・安寧に加え、地域の中で、自分らしさを発揮し、自己実現をしていくことも必要です。本シンポジウムでは先駆的な取組事例を紹介し、今後の訪問卒業生の学びについて考えます。

15:30～16:00 閉会行事

- ・会長挨拶
- ・大会宣言
- ・次期開催地のお知らせ
- ・歌「小さいのち」

16:15～17:00 全訪研総会

全訪研の活動方針や予算などについて話します。活動内容について質疑の時間も設けます。会員以外の方も参加できます。どんな様子か、見に来てください。

■申込み方法■

大会申込みフォームから申込みをするとともに、参加費を振り込んでください。

なお、グループや学校単位での申込みは受け付けておりません。お一人ずつ申込みをお願い致します。

○申込み期間 5月1日（土）～7月24日（土）

○参加費 会員：1500円 一般：2000円 学生・保護者（家族）：1000円

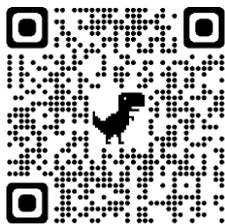
※下記の振込先に8月2日（月）までに参加費の振込をお願いします。

【振込先】郵便振替口座番号「00130-2-95934 全国訪問教育研究会」

○QRコードまたはURLから申し込んでください。

①QRコードから申し込む

下記のQRコードから大会申込みフォームに入れますので、必要事項を記入してお申込みください。



②URLから申し込む

下記のURLから大会申込みフォームに入れますので、必要事項を記入してお申込みください。

<https://forms.gle/m8UigfRSMJe9JmxY8>

③全国訪問教育研究会ホームページから申し込む

<http://zenhoken.com> から全訪研ホームページに入れます。

全訪研ホームページ→「全国大会」をクリック→「参加申込」のリンクをクリックすると、大会申込フォームに入れますので、必要事項を記入して送信してください。

※申し込まれた方には「参加申込みを受け付けました」のメールが全訪研より届きます。申し込み後、1週間たっても全訪研からメールが届かない場合、記入アドレスの間違い、迷惑メールフィルター設定の問題などが考えられます。全訪研から受付確認のメールが届かない場合は、下記の全国事務局長までご連絡ください。

※申込フォームに入れないなど、申込みができない場合は、下記の全国事務局長までご連絡ください。

■資料の請求について■

大会記録がほしいという場合は、2022年2月に発行される「**訪問教育研究 第34集**」を送付致します。大会の内容や訪問教育に関する資料が掲載されています。代金は、送料込みで、1300円です。ご希望の方は、参加申し込みの際にご連絡ください。

※全訪研会員の皆様へ・・・2022年2月に機関紙「こんにちは」と一緒に「訪問教育研究 第34集」を送付しますので、資料請求の申込みはしないでください。

■問い合わせ先■

<全訪研会長> 榎木 暢子 kashiki.nagako.mc@ehime-u.ac.jp

<全国事務局長> 長 正晴 chou_masaharu@yahoo.co.jp

○全訪研ホームページ <http://zenhoken.com>

(こちらから開催要項のダウンロードができます。)

全訪研に関するいろいろな情報も見られますので、ぜひ、ご覧ください。)

★全訪研メーリングリストに参加しませんか。

訪問教育に関わるみなさんの交流、情報交換の場になれば、と思います。

参加希望の方は全国事務局長までご連絡ください。

★全国訪問教育研究会に入会しませんか。

入会すると、訪問教育に関する情報や各地の訪問教育の実践が掲載されている機関紙「こんにちは」を年5回、お送りします。また、年1回、研究誌「訪問教育研究」が会員に送られます。

年会費は4,000円です。入会を希望される方は、全国事務局長までご連絡ください。